

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ユニバーサルデザインキャンプ2014「障がい者スポーツで安心安全な街づくり」
事業主体 (連絡先)	まつもとユニバーサルデザインネットワーク研究会 松本市丸の内4-18テレビ信州内
事業区分	(4) 安心・安全な地域づくりに関する事業 (6) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,333,563 円 (内支援金 1,703,000 円)

事業内容

ユニバーサルデザインキャンプ2014「障がい者スポーツで安心安全な街づくり」

第1部 基調講演「2020 東京オリンピック・パラリンピックのあるべき姿」

講師 スポーツジャーナリスト 二宮清純氏

第2部 子供たちとのスペシャルトーク

「2020 東京オリンピック・パラリンピックを目指して」

出演者 スポーツジャーナリスト 二宮清純氏

ユニバーサルデザインコンソーシアム代表 梶本久夫氏

まつもと UD ネットワーク研究会会長 住吉広行氏

伊那市立高遠小学校 6年 高橋采未さん (ゴルフ選手)

安曇野市立豊科南小学校 6年 手塚峻馬君 (卓球選手)

松本市立菅野中学校 2年 加藤和騎君 (サッカー選手)

第3部 研究発表「ホテル旅館・飲食店の UD 改修基準」

発表者 まつもと UD ネットワーク研究会 岩原 忍氏



【スペシャルトーク】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 2020 東京パラリンピックに向けて、障がい者スポーツ誘致の切っ掛けづくりができた。
- ② ホテル旅館・飲食店関係者 860 社に向けフォーラムのチラシを配布。UD 改修への下地づくりができた。松本商工会議所の協力を得て、UD 改修ハンドブックを関係事業所に販売配布予定。
- ③ 11月4日(土)に松本大学松商短期大学部学生と松本市内のUDフィールドワークを実施した。
- ④ 市民タイムス紙上にて「出来るところから始めようUD」の寄稿を掲載。大きな反響をいただいた。

【目標・ねらい】

- ① 障がい者スポーツの誘致
- ② ホテル旅館・飲食店の UD 改修
- ③ 市民との協同
- ④ UD の啓蒙

※自己評価 【 A 】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、更なる UD 推進のためホテル旅館・飲食店の UD 改修ハンドブックの第2弾を発刊して、他業種への UD 啓蒙を実施したい。

【理由】
10年余の活動の結果、UD改修ハンドブックの発刊ができ、地域のUD推進に貢献できた。かつ市民タイムス紙上でのUD寄稿により、UD推進において大きな反響をいただいた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある